

2022年度
(令和4年度)

事業報告
及び 事業報告の附属明細書

—事業期間—

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益財団法人 藤沢市保健医療財団

目次

I	事業報告について	1
II	各公益目的事業の事業実績	2
1	健診・健康づくり事業【公益目的事業1】	2
	（1）事業所等健診・検診事業	2
	（2）受託健診・検診事業	4
	（3）高度医療機器の共同利用事業	6
	（4）保健事業	7
	（5）国保特定保健事業	14
2	介護保険事業【公益目的事業2】	18
	（1）訪問看護ステーションの運営に関する事業	18
	（2）居宅介護支援に関する事業	18
3	保険調剤薬局運営事業【公益目的事業3】	20
	（1）保険調剤薬局の運営に関する事業	20
4	法人運営事業	21
5	事業報告の附属明細書	25
資料		26
	2022年度（令和4年度）健診・検診、検査外来実績【公益目的事業1】	26
	2022年度（令和4年度）保健事業実績【公益目的事業1】	28
	2022年度（令和4年度）介護保険事業実績（訪問看護）【公益目的事業2】	29
	2022年度（令和4年度）介護保険事業実績（居宅介護）【公益目的事業2】	30
	2022年度（令和4年度）保険調剤薬局運営事業実績【公益目的事業3】	31
	公益財団法人藤沢市保健医療財団 役員及び評議員	32
	公益財団法人藤沢市保健医療財団 組織図	34

2022年度（令和4年度）事業報告 2022年4月1日～2023年3月31日

I 事業報告について

コロナ禍が3年目に入った2022年度（令和4年度）は、依然として感染状況が収束に向かうことなく、夏場以降オミクロン株の影響により、7月末には藤沢市内においても感染確認者が744人と過去最高になるなど、第7波・第8波は医療逼迫など社会的に大きな影響を与えました。財団の職員についても、年間の感染者が35名にも上り、濃厚接触者の増加とともに、日常業務に影響が及びました。

一方で、緊急事態宣言などの社会的な行動制限が段階的に緩和される中で、財団としては、感染防止ガイドライン等に基づき対策を徹底するとともに、感染者の発生に備え「感染症初動対応マニュアル」を活用し、利用者が安全に安心して利用できるよう努めました。

事業面では、健診（検診）事業の利用者は、一般健康診断を中心に増加傾向にあります。保健事業は、一部事業で人数や時間の制限を継続して実施したこともあり、利用者数の伸び悩みが続いています。新型コロナウイルス対応の住民向けワクチン接種については、秋からオミクロン株対応ワクチンの接種が始まったこともあり、年間予定数を大きく上回る実績を残しました。

介護保険事業については、職員の年度途中での退職が影響したものの、前年度実績を確保しました。

また、保険調剤薬局運営事業は、新型コロナウイルス感染症の第7波・第8波の期間において、藤沢市北休日夜間急病診療所の受診者数が急増したことにより、処方せん枚数が計画数を大幅に上回る状況となっています。一方で、後発医薬品を中心とした医薬品不足が、年度後半に深刻な状況となりましたので、医師会や薬剤師会と連携して、各医薬品卸業者に年末年始期間中の医薬品確保に向けて要請を行いました。

全体として、電気料金やガス料金の値上げの影響があったものの、収支面では、経常収支で約852万円の収入超過となり、経営面では比較的安定した状況となっています。

2023年度（令和5年度）は、新型コロナウイルス感染症の分類変更に伴う利用者への対応など、当財団に影響を及ぼすと思われる課題に対して臨機応変に取り組むとともに、2023年度事業計画を積極的に推進してまいります。

Ⅱ 各公益目的事業の事業実績

1 健診・健康づくり事業【公益目的事業1】

コロナ禍においても安全・安心な健診・検診を受けていただくために、新型コロナウイルス等の感染症予防対策として、引き続き、来所時の予診・検温等の感染症対策に取り組み、事業を展開しました。マスクの着用については、医療施設として職員の勤務中着用を、利用者には着用の協力をお願いしました。また、予診で少しでも感染症が疑われる場合は、集団発生予防の視点から安全を最優先し、予約の変更のお願いをしました。

事業所等の健康保険組合員及びその家族の健康診断では、生活習慣病等の予防と食生活改善・疾患の早期発見に努めました。また、予約時間や来所時間を細分化し人数枠を最大限に拡げ、受診者数確保に取り組みました。

日本人間ドック学会施設機能評価の更新にあたっては、健診検討委員会を中心に全職員で一丸となり取り組みました。

マンモグラフィ装置による藤沢市の乳がん検診、CT・MRI等の高度医療機器の有効活用による精度の高い検査を実施することで、地域住民の疾病の早期発見及び健康増進に寄与したと考えます。

また、利用者の利便性を向上させるため、2022年4月からクレジット決済を導入するとともに、2023年4月からのオンライン資格確認や自動精算レジ導入に向けた準備を行いました。

一方で、保健事業は多くの事業が藤沢市からの受託事業であることから、市の方針に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、健康づくり個別支援事業、健康づくり地域普及事業、介護予防・障がい者の支援に関する事業、さらには国保特定保健事業において、参加人数や実施時間等を制限しての実施となりましたが、市民の皆様が安心して事業に参加できる環境を整えて、健康寿命の延伸支援に取り組みました。

(1) 事業所等健診・検診事業

①一般健康診断（労働安全衛生法による健康診断等）

対象者 市内事業所の勤務者

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
一般健康診断	9,700人	10,076人	103.9%	102.6%	9,816人

②健康保険組合健康診断（総合健診）

対象者 健康保険組合の被保険者及び配偶者

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
健康保険組合健康診断 （総合健診）	2,700人	2,782人	103.0%	103.3%	2,694人

③全国健康保険協会（協会けんぽ）生活習慣病予防健診

対象者 協会健保の被保険者

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
生活習慣病予防健診	5,600人	6,001人	107.2%	101.6%	5,906人

④シニア健診

対象者 61歳以上の希望する受診者

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
シニア健診	120人	134人	111.7%	109.8%	122人

⑤特定健康診査（社保）

対象者 国保を除く健康保険の被扶養者

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
特定健康診査（社保）	180人	182人	101.1%	110.3%	165人

【説明】

アンケートの回答に多い「長い待ち時間」への対応として、受付時間の分散化や、比較的空いている検査への誘導を行うことで混雑緩和に取り組みました。また、年間を通じて可能な限り均等な予約枠の運用に努め、受診者数確保に努めました。

総合健診受診者数は、コロナ禍前より増加、協会けんぽ健診では前年度に続き過去最大受診者数を確保し増収につながられました。

健診事業は、市民の疾病予防や疾患の早期発見に寄与するものであるとともに、財団の経営面の根幹をなすものです。今後も、他施設と差別化を図る為に独自のオプション検査の検討や顧客確保の分析を行い、いつでも安心して受診できる環境を整え、受診者数確保に努めます。

⑥新型コロナウイルスワクチン接種

対象者 ワクチン接種を希望する市民

実施項目	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
新型コロナウイルスワクチン接種	1,400人	4,002人	285.9%	81.4%	4,915人

【説明】

計画数は、国の新型コロナウイルスワクチンについての発表に基づき、3回目までを見込んで計上しましたが、新たに5月下旬から、高齢者等への4回目接種や、秋からオミクロン株対応2価ワクチン接種が始まったことから、計画数を大幅に上回る実績となりました。

(2) 受託健診・検診事業

①ヘルスチェック

ア 検診内容 健康度測定等

イ 対象者 30歳代の国保加入者

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
ヘルスチェック	800人	730人	91.3%	91.1%	801人

②乳がん検診

- ア 検診内容 マンモグラフィ検査
イ 対象者 市内在住者（40歳以上）

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
乳がん検診	1,300人	1,421人	109.3%	91.8%	1,548人

③学童検診

- ア 検診内容 糖尿病検診、腎臓病検診
イ 対象者 教育委員会から指定された児童・生徒

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
学童検診	30人	29人	96.7%	131.8%	22人

【説明】

受託健診・検診事業においても、事業所等健診・検診事業同様の感染症対策を行いました。

①ヘルスチェックは日曜検診を10月16日に実施しましたが、受診対象者数が減少していることが影響し、実績数は前年度を下回りました。2023年度も、市の担当課と協議し受診率向上に取り組めます。

②乳がん検診は、ポスター掲示やチラシの配架に加え、ワクチン接種者で検診対象の方に案内を直接渡すなど受診率向上に取り組むとともに、日曜検診（10月、3月に実施）により受診しやすい機会を提供しました。制度変更（前年度から対象者が40歳以上の偶数年齢者に変更）の過渡期でもあり、今後の計画数の設定に当たっては、市の担当課と調整します。

今後も積極的に啓発活動を行い受診率向上に努めるとともに、引き続き受診勧奨や受診者の要望に沿った受診体制により市民の健康増進と疾病の早期発見に努めます。

(3) 高度医療機器の共同利用事業

検査外来

実施項目	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
MRI検査	3,100人	3,255人	105.0%	101.1%	3,219人
CT検査	2,700人	2,794人	103.5%	100.6%	2,778人
肺がん、結核二次検診	500人	450人	90.0%	89.1%	505人
超音波検査	2,000人	1,776人	88.8%	92.9%	1,911人
乳房検査	700人	671人	95.9%	103.7%	647人
内視鏡検査（上部）	100人	67人	67.0%	65.0%	103人
骨密度測定	60人	30人	50.0%	28.3%	106人
その他の各種検査	700人	570人	81.4%	89.9%	634人
合計	9,860人	9,613人	97.5%	97.1%	9,903人

【説明】

検査外来事業は、市内の高度医療機器設置施設の影響があるものの、MRI・CT・乳房検査数は前年度を上回りました。その他の検査数は減少傾向にあり、特に骨密度測定や超音波検査は、特定の医療機関からの集団予約がないことが影響しました。検査件数は2017年度（平成29年度）をピークに減少しています。

検査件数の確保は大きな課題と捉え、利用していただくために、検査精度の向上、迅速な予約対応、信頼される読影回答に努めるとともに、医師会での広報活動や新規開設医療機関の情報収集と訪問を行い、利用施設の確保に取り組みます。

また、事業所等健診・検診事業の二次精査については、積極的に所内の高度医療機器を利用し検査件数確保に努めます。加えて、治療が必要で主治医を持たない健診受診者については、医師会先生方と連携し迅速な治療につながるよう取り組みます。

(4) 保健事業

2022年度（令和4年度）は、事業の多くをコロナ禍前の対面形式に戻し、感染症対策を行う中で実施しました。

健康増進に向けた生活習慣改善が課題となっている子育て・就労世代へのアプローチとして、オンラインによる面談、健康増進動画の配信など新しいツールを活用した取り組みのほか、親子で楽しく身体を動かして体力づくりを行う教室の再開により、きっかけ作りの機会を提供しました。また、高齢者を対象に集団及び個別の運動サポート事業（アウトリーチ型）を展開し、超高齢社会においても介護を必要としない生活が送れるよう支援しました。

市民の皆様生活習慣病予防、生活習慣改善につながる健康教育を実施することで、健康寿命の延伸及び健康格差の縮小を目指すとともに、感染症に起因する健康二次被害への不安も払拭できるよう努めました。

①健康づくり個別支援事業

ア 健康支援プログラム事業[健康づくり課：受託事業]

(ア) 対象者 市民

(イ) 事業内容 健康づくり目標達成に向けた6ヶ月間プログラム

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
健康支援プログラム	200人	143人	71.5%	97.3%	147人
【説明】 前年度並みの実績で、計画数には達しませんでした。今後は、利用者の高齢化及びハイリスク化に対応した健康支援に加え、オンラインの活用により若い世代の新規利用者を確保していきます。					

イ 生活習慣病予防等事業[健康づくり課：受託事業]

(ア) 対象者 市民

(イ) 事業内容 生活習慣病予防・重症化予防事業、糖尿病予防・重症化予防事業、禁煙支援事業、健康相談等

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
生活習慣病予防等事業	500人	436人	87.2%	105.8%	412人

【説明】

計画数には達しませんでした。前年度をやや上回る実績でした。生活習慣病予防・重症化予防教室は従来からの対面型に加え、前年度から開始したオンライン型（動画配信）をさらに充実させたことにより、視聴参加者数は前年度の3.5倍となったことから、市民のニーズに応えることができたかと捉えています。

今後も、地域各所で行う対面教室とオンラインでの教室を組み合わせ、市民の健康不安に寄り添い、病態に応じた生活習慣病予防・重症化予防に向けた支援を行っていきます。

ウ 健康度チェック[健康づくり課：受託事業]

(ア) 対象者 市民

(イ) 事業内容 健康支援プログラム実施前のメディカルチェック

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
健康度チェック	40人	20人	50.0%	111.1%	18人

【説明】

2022年度（令和4年度）は、前年度実績よりも微増となりましたが、計画数には達しませんでした。健康支援プログラムの参加者や18歳以上で健診機会のない方に対し受診機会を提供する事業として、各種事業開催時や広報等の周知手段により多くの市民にPRして、今後も健診受診から健康づくりにつながるきっかけとなるよう努めます。

エ 体力度チェック[健康づくり課：受託事業]

(ア) 対象者 市民

(イ) 事業内容 健康づくりトレーニング等、スポーツ実施前のメディカルチェック

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
体力度チェック	450人	260人	57.8%	77.4%	336人

【説明】

2023年度（令和5年度）からの新たな体力度チェックへの移行に伴い、試行的に動脈硬化リスクが重複している方のうち、状態が安定している方を対象から除外したことにより、前年度実績を下回り、計画数にも達しませんでした。一方で、新規者は前年度より2人増の67人、また、総合健診及びシニア健診の受診者からも前年度より7人増の64人となりました。

今後も、メディカルチェックの重要性を市民に伝えるとともに、健康関連体力の可視化を推進し、体制を整えて今までより多くの方に利用していただけるよう努めます。

オ 健康づくりトレーニング[健康づくり課：受託事業]

(ア) 対象者 市民

(イ) 事業内容 トレーニングマシンを活用した運動実践

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
健康づくりトレーニング	18,000人	17,977人	99.9%	104.5%	17,203人

【説明】

2022年度（令和4年度）は、新型コロナウイルス等の感染症予防対策を講じながら、定員や利用時間枠の制限を徐々に緩和したことで、前年度実績を上回り、計画数もほぼ達成しました。今後はさらに制限を緩和し、コロナ禍前の状況に戻すことで運動習慣の確保のための運動実践の場を提供し、利用者増を図ります。

カ 各種健康保険組合被保険者への支援[自主事業]

(ア) 対象者 各種健康保険組合被保険者の特定保健指導対象者

(イ) 事業内容 動機付け支援及び積極的支援

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
各種健康保険組合被保険者への支援	8人	4人	50.0%	100.0%	4人

【説明】

前年度と同実績となりましたが、計画数には達しませんでした。

社会保険加入者は、比較的若い就労世代で、自身の健康管理が後回しになる傾向が強いため、健康保険組合からの保健指導利用勧奨と併せて、当財団においても受診者の中で、特定保健指導の対象となる方へ、同日保健指導を実施するなど、利用者の確保に努めます。

②健康づくり地域普及事業

ア 地域支援事業[健康づくり課：受託事業]

(ア) 対象者 市民

(イ) 事業内容 市民の健康づくり・生活習慣病予防改善等促進のための普及・啓発支援事業

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
地域支援事業	3,000人	2,959人	98.6%	211.8%	1,397人

【説明】

新型コロナウイルス等の感染症予防対策を講じながらの実施となりましたが、地域での各種イベントの再開に伴い参加者数が増加し、前年度の200%超えとなり、概ね計画数を達成しました。身体活動促進普及推進事業では、夏休みに「親子で体力づくり教室」を3年ぶりに実施し、本市の課題である就労・子育て世代への身体活動促進の働きかけをすることができました。

また、後期高齢者保健事業では、ハイリスクアプローチとして糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラムを6人の対象者に実施しました。これからも市との連絡・調整を密に行い、各地域において市民の健康増進を推進できるよう取り組みます。

イ 健康寿命延伸支援事業[自主事業]

(ア) 対象者 市民及び市外在住者

(イ) 事業内容 健康寿命延伸をテーマとする依頼元の要望に応えた派遣指導

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
健康寿命延伸支援事業	480人	726人	151.3%	120.6%	602人

【説明】

市内全域において、団体やサークル活動等健康増進への取り組みが戻ってきたこと、及び、公民館や社会福祉協議会主催事業等への講師派遣数の増加もあり、計画数を達成しました。またイベント事業も計画通り開催され、多くの市民に健康づくりを身近で実践できるよう普及啓発の機会を提供しました。今後も団体からの依頼・要望に体制を整えて柔軟に対応し、地域に根ざした健康寿命延伸支援に取り組めます。

ウ 調査・研究事業[自主事業]

事業内容 神奈川県及び藤沢市や市内外の大学及び健康支援関係団体等と連携した市民の健康づくりに向けた調査・研究

【説明】

(1) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科及びスポーツ医学研究所との協働を進展させるため、2013年から続く身体活動促進事業「ふじさわプラス・テン」の介入グループへの健康チェックに加え、身体活動ガイドライン改定に向けたデータ提供協力を行いました。

(2) 神奈川県立保健福祉大学及び神奈川県立がんセンターと、前年度に引き続き神奈川県未病コホート研究へのリクルート・測定及び前年度参加者のフォローアップ測定を行いました。

(3) スポーツ庁の Sport in Life 推進プロジェクト「安全なスポーツ活動支援などスポーツに関する情報提供の仕組みづくり」(日本医師会と連携した運動・スポーツ関連資源マップ構築に向けた検討)の藤沢地区マップ作成会議に参加し、医療と運動・スポーツ施設をつなぐツール作成に携わりました。

今後も、健康施策に関わる機関との連携事業や、市内 NPO 法人などと共に、市民の健康づくりにつながる調査・研究事業を行っていきます。

③ 介護予防・障がい者の支援に関する事業

ア コンディショニングトレーニング[自主事業]

(ア) 対象者 市民

(イ) 事業内容 日常生活力をアップするための運動実践

実施事業名	2022年度(令和4年度)				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
コンディショニング トレーニング	6,100人	5,099人	83.6%	97.0%	5,258人

【説明】

利用者の 73.3%が後期高齢者であり、コロナ禍で新規利用者が少なかったことや、継続者の減少が影響し、計画数を達成できませんでした。

健康寿命の延伸には、介護予防としての高齢者の運動実践の場が重要であり、コロナ禍が落ち着く中で、事業担当課や地域包括支援センター等に対して本事業の内容や対象について積極的に周知を行い、利用者の確保に努めます。

イ 介護予防事業[高齢者支援課：受託事業]

(ア) 対象者 65歳以上の市民

(イ) 事業内容 ロコモティブシンドローム予防の運動実践

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
介護予防事業	254回	91回	35.8%	222.0%	41回

【説明】

受託事業の拡大により前年度実績は上回りましたが、準備・調整の遅れにより下半期から開始したことが影響し、計画数には達しませんでした。

高齢者にとって介護予防は、快適で安定した生活を営む上で大切であり、今後も多くの高齢者の方々に、安全で、さらに安心して参加できる運動実践の場を提供できるよう努めます。

ウ 障がい者等生活改善相談事業[障がい者支援課：受託事業]

(ア) 対象者 市民

(イ) 事業内容 日常生活のQOLの向上を図るため、生活改善等の相談

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
障がい者等生活改善相談	60回	98回	163.3%	114.0%	86回

【説明】

2022年度（令和4年度）は夏頃より来所相談が増え、年間を通して相談事業を実施することができたため、計画数を上回りました。

障がい福祉施設では、コロナ禍での日常活動制限が継続されていたことで、当事者以上に家族の方が介護や介助による家庭内ストレスを抱えやすい状況が続き、家族の精神的支援が必要な状態は、変わっていませんでした。

今後も当事者や家族への支援を行い、他事業所とも連携して要望に応えられる相談事業を実施します。

エ 藤沢市介護保険住宅改修等点検事業[介護保険課：受託事業]

(ア) 対 象 介護保険課が必要と判断した工事等

(イ) 事業内容 居宅訪問実地調査

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
藤沢市介護保険住宅改修等点検事業	34回	7回	20.6%	100.0%	7回

【説明】

前年度同様、コロナ禍による訪問点検の自粛が多く、訪問調査は大幅に減少した状態が続いています。また、書類点検は、市から依頼される対象が少なかったこともあり実施回数が伸びず、計画数には達しませんでした。

今後も市と連絡を密に取りながら、安定した事業実施に向けて、専門職の立場で助言等を行いながら事業を実施していきます。

(5) 国保特定保健事業

ア 特定保健指導[健康づくり課：受託事業]

事業内容 健診結果等から生活習慣病のリスクに応じた「動機付け支援」、
「積極的支援」保健指導

実施項目	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
(1) 動機付け支援	170人	67人	39.4%	93.1%	72人
(2) 積極的支援	30人	11人	36.7%	157.1%	7人
<p>【説明】</p> <p>動機付け支援、積極的支援ともに、計画数に達しませんでした。</p> <p>コロナ禍で開催していなかった集団指導も再開しましたが、前年度と受診期間を変更したことによる受診率の低下が、参加者の低迷につながっていると思われます。積極的支援については、65歳以上の年代が全て動機付け支援に階層化されることから、僅かですが若い世代の利用増が実績に反映されています。</p> <p>今後も当財団ならではの運動指導との連携による生活習慣病予防改善など、保健指導の特色をPRして利用者の確保に努めます。</p>					

イ 国保ヘルスチェック事業[健康づくり課：受託事業]

(ア) 対象者 31歳～39歳の藤沢市国民健康保険加入者

(イ) 事業内容 健診受診案内・勧奨から健診受診後のフォロー・保健指導

実施項目	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
(1) ヘルスチェック健康支援	1,000人	730人	73.0%	91.1%	801人
(2) 健診未受診者への 受診勧奨業務	6,000人	4,798人	80.0%	105.3%	4,557人
(3) 保健指導業務	15人	9人	60.0%	100.0%	9人
(4) 要保健指導もしくは要医療者 への利用勧奨及び受診勧奨	200人	214人	107.0%	87.7%	244人

【説明】

- (1) 健診受診者に対して、健診結果と質問票から健康アドバイスを送付するヘルスチェック健康支援を実施しました。対象となる30歳代の国保加入者が減少していることが影響し、前年度実績を下回り、計画数に達しませんでした。
- (2) 前年度実績を上回りましたが、計画数の80%にとどまっています。
受診勧奨は、8月末時点の未受診者へはのダイレクトメール（ハガキ）により、年度内に31歳及び32歳に到達する方、また、過去2年間に受診履歴のある方へは電話による勧奨を実施しました。
- (3) ヘルスチェック健診当日の健診結果から、保健指導対象となる方に介入し、前年度と同実績となりましたが、計画数には達しませんでした。
当日保健指導は、健診スタッフの協力が得られる11月に限定し実施していますが、今後は、検診当日の実施体制を整えて、当日保健指導の期間を拡大するよう検討を進めています。
- (4) ヘルスチェック健診受診者で、健診結果から利用及び受診勧奨となる対象者が減少していることもあり計画数は達成していますが、前年度実績よりも少なくなっています。若い頃からの生活習慣病重症化予防のため、今後も効果的な利用勧奨、受診勧奨に努めます。

ウ 特定保健指導利用勧奨事業【健康づくり課：受託事業】

事業内容

- (ア) 電話による特定保健指導の利用勧奨
(イ) 特定保健指導実施機関の保健指導従事者を対象に、特定保健指導の進め方や事務処理の方法について伝える研修会を開催

実施項目	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
(ア) 利用勧奨	2,000人	1,566人	78.3%	85.4%	1,834人
(イ) 実施機関研修会	100人	58人	58.0%	93.5%	62人

【説明】

(ア) 藤沢市特定健診結果から特定保健指導の対象となった方に、電話による利用勧奨を行いました。近年の国保加入者の減少の影響により、健診受診者及び対象者の減少傾向にあるため、計画数に達しませんでした。

(イ) 研修会は Web 開催で年に 2 回実施しました。第 1 回は 25 医療機関 30 人の参加があり、第 2 回は 23 医療機関 28 人の参加がありました。コロナ禍の影響により保健指導に対応できない医療機関もあり、本研修に参加する特定保健指導実施機関数は、減少傾向にあります。

エ 生活習慣病重症化予防業務[健康づくり課：受託事業]

事業内容

- (ア) 当該年度健診受診者に対する医療機関への受診勧奨
- (イ) 前年度、前々年度の医療機関受診勧奨の対象者に対する医療及び健診受診勧奨
- (ウ) 生活習慣病重症化予防個別保健相談

実施項目	2022 年度（令和 4 年度）				2021 年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
(ア) 当該年度受診者に対する医療機関への受診勧奨	2,000 人	0 人	0.0%	— %	243 人
(イ) 前年度、前々年度の医療機関受診勧奨の対象者に対する医療及び健診受診勧奨	2,500 人	518 人	20.7%	45.9%	1,128 人

【説明】

(ア) 受診勧奨の実施時期が、市との調整により年度内（2 月）から翌年度（6 月）に変更となったことに伴い実績はありません。

(イ) 実績は、上半期に実施した前年度の医療機関受診対象者への受診勧奨実績となります。本来通年で実施する受診勧奨業務が、市の対象者の見直しにより、2 年前の健診受診者の内、医療機関未受診者への受診勧奨及び、今年度の対象者に対する受診勧奨もなくなったため、実績数が前年度実績や計画数よりも大幅に少なくなっています。

いずれの事業も市との連絡・調整を行い、年度途中での業務内容等の見直しにも対応できるよう努め、今後も生活習慣病予防に取り組みます。

オ 糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラム支援

【健康づくり課：受託事業】

事業内容

糖尿病治療中で、健診時に腎機能の低下が見られた方について、透析等の重篤な状態になることを予防する目的で実施する6ヶ月間のプログラム（定期的な面接による保健指導、栄養指導、運動指導等）

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
糖尿病性腎症重症化 予防保健指導プログラム 支援	30人	14人	46.7%	77.8%	18人
【説明】 市が対象者を選定し、参加希望のあった16人に対し、主治医と連絡を取りながらプログラム開始の準備を進めていく中で2人が辞退したため、実績数は、14人となりました。中間評価時点（9月）に1人が入院加療のため途中終了となり、13人については6ヶ月間のプログラムを終了しました。今後は3か月後・6か月後フォローを行い、参加者の状態を確認するとともに改善につながる支援を実施し、令和5年6月に終了となります。					

2 介護保険事業【公益目的事業2】

(1) 訪問看護ステーションの運営に関する事業

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
訪問看護・リハビリ	7,500回	7,064回	94.2%	105.2%	6,714回
<p>【説明】</p> <p>臨時職員看護スタッフ1名を4月に採用しましたが、5月には2名の臨時職員看護スタッフが退職となりました。</p> <p>このスタッフ減により、年間実績は計画数を下回る結果となりましたが、前年度実績は上回ることが出来ました。</p> <p>今後も引き続き、地域包括センター、居宅介護支援事業所、医療機関等の関係機関への協力要請を行い、計画達成に向けた取り組みをすすめるとともに、サービスの向上に努めていきます。</p>					

(2) 居宅介護支援に関する事業

①ケアプランの作成

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
ケアプランの作成	1,550件	1,501件	96.8%	106.8%	1,405件
<p>【説明】</p> <p>利用者の状況は、がん末期等で在宅療養をする方の増加による死亡者と、認知症の進行や介護者の高齢化で在宅生活が維持できず、入院や入所をされるケースが前年度に続き多くありました。このため、目標件数維持に向け、前年度よりも新規利用者を多く受け入れ（+29件）ました。在宅療養日数が数日でもケアマネの業務量は変わらない為、計画数には及びませんでした。他の事業所で断られた利用者を受け入れ、地域のセーフティネットとしての機能を十分に果たすことができたと考えます。</p> <p>予防プランについては状態改善と家族の新規申請により、上限人数を超えないよう包括支援センターと調整し、トータルの件数は前年度並みにとどめています。</p>					

今後も、利用者が安心して在宅生活を継続でき、介護予防の観点からも活動を再開できるように、市や関係機関と緊密な連携をとり、適切なサービス提供に必要な調整に努めていきます。

また、事務機能向上と新システムの導入および2024年度（令和6年度）のトリプル改定に向けた準備を進め、円滑な事業所運営が継続できるようにしていきます。

②認定調査

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
認定調査	140件	153件	109.3%	100.0%	153件
【説明】 新型コロナウイルス感染症の認定調査に対する影響が収まりつつあることから、市からの調査依頼が増加し計画数を上回り、前年度と同数の結果となりました。					

3 保険調剤薬局運営事業【公益目的事業3】

(1) 保険調剤薬局の運営に関する事業

一次救急医療体制である藤沢市医師会北休日夜間急病診療所等の利用者への調剤、投薬、薬歴管理、服薬指導、医薬品情報の収集等の管理業務を行いました。

実施事業名	2022年度（令和4年度）				2021年度
	計画数	実績数	達成率	前年度比	実績数
調剤等業務 （受付処方せん枚数）	7,500枚	15,758枚	210.1%	182.0%	8,658枚
【説明】 受付処方せん枚数は、前年度と比較して大幅に増加しました。 これは、北休日夜間急病診療所発熱外来等の受診患者数が増加したことによるものです。特に7月、8月には新型コロナウイルス感染症が、また12月、1月、2月は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの患者数が増加したため、藤沢市薬剤師会と調整して勤務薬剤師、事務員の増員を実施しました。 今後も、患者数の状況に応じて、関係機関と連携して対応していきます。 現在、様々な医薬品について供給不足等に伴う出荷調整が行われており、休日夜間診療調剤に使用する医薬品についても必要数の確保が困難な事例が出ています。引き続き医薬品の確保、代替医薬品の確保に努めていきます。 また、利用者の利便性を向上させるため、薬局入り口のドアを自動ドアに変更するとともに、2023年4月からのオンライン資格確認導入に向けて準備をしました。					

4 法人運営事業

(1) 管理及び法人運営事業

①理事会、評議員会を始めとする法人の運営業務

【理事会の開催状況】

第1回 5月23日(月) (理事 12名 監事 2名)

- (1) 報告第1号 公益財団法人藤沢市保健医療財団代表理事(理事長)及び業務執行理事(副理事長、専務理事、常務理事)に関する自己の職務の執行状況報告について
- (2) 報告第2号 2021年度(令和3年度)藤沢市こまよせ薬局調剤等業務委託について
- (3) 議案第1号 専決処分の承認について
(2021年度(令和3年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団資金収支補正予算(第2号)について)
- (4) 議案第2号 2021年度(令和3年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団事業報告について
- (5) 議案第3号 2021年度(令和3年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団決算について
- (6) 議案第4号 2022年度(令和4年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団第1回評議員会の開催について
- (7) その他
藤沢市こまよせ薬局での後発医薬品調剤体制加算に係る調剤料の誤りに
ついて(報告)

第2回 11月17日(木) (理事 11名 監事 2名)

- (1) 議案第5号専決処分の承認について
(2022年度(令和4年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団資金収支補正予算(第1号)について)
- (2) 議案第6号2022年度(令和4年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団資金収支補正予算(第2号)について
- (3) 報告第3号公益財団法人藤沢市保健医療財団代表理事(理事長)及び業務執行理事(副理事長、専務理事、常務理事)に関する自己の職務の執行状況報告について
- (4) 報告第4号2022年度(令和4年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団事業計画の中間報告及び2022年度(令和4年度)資金収支予算の執行状況の中間報告について
- (5) 報告第5号公益財団法人藤沢市保健医療財団将来構想の取り組むべき課題の中間報告について

(6) その他

- ①藤沢市こまよせ薬局での後発医薬品調剤体制加算に係る調剤料の誤りに
ついて（報告）
- ②公益財団法人藤沢市保健医療財団評議員会及び理事会の開催予定について

第3回 2023年3月17日(金) (理事 13名 監事 2名)

- (1) 議案第7号専決処分の承認について
(公益財団法人藤沢市保健医療財団給与規程の一部を改正する規程)
- (2) 議案第8号専決処分の承認について
(2022年度(令和4年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団資金収支
補正予算(第3号)について)
- (3) 議案第9号2022年度(令和4年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団資
金収支補正予算(第4号)について
- (4) 議案第10号公益財団法人藤沢市保健医療財団規程等の一部改正及び全部改
正について
- (5) 議案第11号2023年度(令和5年度)藤沢市こまよせ薬局調剤等業務委
託について
- (6) 報告第6号2023年度(令和5年度)藤沢市保健医療財団経営管理方針に
ついて
- (7) 議案第12号2023年度(令和5年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団
事業計画(案)、収支予算書(案)並びに資金調達及び設備投資の見込み
について
- (8) その他
 - ①日本人間ドック学会施設機能評価の受審について
 - ②公益財団法人藤沢市保健医療財団評議員会及び理事会の開催予定について

第4回 2023年3月27日(月) (理事 13名 監事 2名)

- (1) 議案第13号 2023年度(令和5年度)公益財団法人藤沢市保健医療財
団第1回評議員会(みなし決議)の開催について

【評議員会の開催状況】

第1回 6月9日(木) (評議員 8名)

- (1) 報告第1号 2021年度(令和3年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団
事業報告について
- (2) 議案第1号 2021年度(令和3年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団
決算について
- (3) 報告第2号 2022年度(令和4年度)公益財団法人藤沢市保健医療財団
事業計画、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
- (4) その他
藤沢市こまよせ薬局での後発医薬品調剤体制加算に係る調剤料の誤りに
ついて(報告)

②組織体制

※組織及び職員の配置状況

(単位：人)

財団役員	理事・監事は	別表(5) 参照	
財団評議員	評議員は	別表(6) 参照	
財団組織	組織図は	別表(7) 参照	
財団職員配置状況 (2022年4月1日現在)	副理事長	1	
	所長(医療事業部長兼務)	1	
	管理部	管理部長	1
		総務課	8
		保健事業課	18
		訪問看護課	21
		小計	48
	診療部	診療部長	1
		診療課	2
		小計	3
	医療事業部	医療事業部長(所長兼務)	—
		画像検査課	8
		臨床検査課	10
		看護課	14
		医療事業課	11
小計		43	
合計		96	

③保健医療センター施設の管理運営

建物や設備機器の老朽化に伴い、藤沢市と協議しながら安全で安心して利用できる機能施設の確保を図ります。2022年度(令和4年度)は、トイレのナースコールの更新、トイレの洋式化、薬局入り口ドアの自動ドアへの変更等を行いました。また、2023年度(令和5年度)の、無停電電源装置更新に向けて協議中です。

④保健医療情報の収集及び管理運営

市内医療機関の診療情報等を収集・運用している「診療情報案内システム」は前年度からスマートフォンにも対応するなどの利便性の向上を図りました。引き続き、未登録の医療機関等に働きかけ、案内情報の充実に努めます。

また、情報発信については新型コロナワクチン接種などの各種事業の情報を掲載するなど、ホームページにより最新情報の提供に努めました。

⑤医療関係者等の教育、研修に関する事業

がん検診啓発イベント（財団後援）

ピンクリボンふじさわ講演会

- 実施日 11月13日（日）開催
- 演 題 「がん医療における心のケア」
- 講 師 大西 秀樹先生
（埼玉医科大学医学部教授、埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科診療部長）
- 参加者 会場51人 オンライン参加80人
YouTube アーカイブ視聴 約100回

NPO法人あいおぷらすチャリティーコンサート

- 実施日 2023年3月30日（木）開催
- 場 所 藤沢市民会館大ホール
- 内 容 コン서트、がん啓発トークショー、がん啓発ブース展示
がん関連パンフレット配布
- 出演者 麻倉未稀氏、富田京子氏、木山裕策氏、つるの剛士氏
角野秀行氏ほか
- 参加者 1,131人

⑥職員の研修に関する事業

講演会(目的) 公益財団職員としての資質・能力を高めるとともに、専門知識及び技術の向上のために各種の研修に参加しました。

(ア) 全体研修

第1回全体研修

- 実施日 4月
- 演 題 「2022年度(令和4年度)経営管理方針について」
- 講 師 公益財団法人藤沢市保健医療財団副理事長 平岩 多恵子
- 対象者 当財団職員 96人

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各課で実施

第2回全体研修

- 実施日 6月
- 演 題 「情報セキュリティについて」
- 講 師 多摩大学経営情報学部 教授 齋藤 裕美氏

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2022年度（令和4年度）は実施見送り。

(イ) 職場研修

各職場における専門研修等を実施しました。

(ウ) 派遣研修

各関連の専門機関等（藤沢市等）への派遣研修を実施しました。

5 事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項）については、「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、作成いたしません。

2022年度(令和4年度)健診・検診、検査外来実績【公益目的事業1】

(単位:人)

事業区分		2022年度(令和4年度)実績(4月~9月)						小計①	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
事業所等健診・検診事業	一般健康診断	777	441	703	1,152	1,199	1,105	5,377	
	健康保険組合健康診断	108	163	290	262	268	231	1,322	
	協会けんぽ生活習慣病予防健診	422	474	719	358	284	515	2,772	
	シニア健診	7	8	11	15	8	9	58	
	特定健康診査(社保)	4	7	17	3	16	23	70	
	小計	1,318	1,093	1,740	1,790	1,775	1,883	9,599	
	新型コロナワクチン接種	143	189	227	508	664	145	1,876	
	計(ワクチン含む)	1,461	1,282	1,967	2,298	2,439	2,028	11,475	
受託健診・検診事業	ヘルスチェック(国保加入者)	0	0	0	58	102	93	253	
	乳がん検診	16	17	159	99	85	133	509	
	学童検診	0	7	22	0	0	0	29	
	計	16	24	181	157	187	226	791	
高度医療機器の共同利用事業	検査外来	MRI検査	280	272	310	253	258	288	1,661
		CT検査	209	207	255	214	221	296	1,402
		内視鏡検査	2	3	9	7	3	5	29
		超音波検査	109	126	185	162	129	149	860
		乳房検査	35	43	63	68	49	49	307
		肺がん、結核二次検診	1	1	16	77	64	66	225
		骨密度測定	2	2	8	3	4	1	20
	その他	上部消化管検査	0	1	3	0	2	0	6
		注腸検査	0	0	0	0	0	0	0
		腎盂造影検査	0	0	0	0	0	0	0
		その他の検診・検査等	38	40	49	46	39	59	271
小計	38	41	52	46	41	59	277		
計	676	695	898	830	769	913	4,781		
合計		2,153	2,001	3,046	3,285	3,395	3,167	17,047	

別表（１）

（単位：人）

2022年度（令和４年度）実績（10月～3月）							合計 ①+②	2021年度 実績	前年度 増減	前年度比
10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計②				
1,098	786	940	658	623	594	4,699	10,076	9,816	260	102.6%
272	266	285	199	257	181	1,460	2,782	2,694	88	103.3%
548	685	676	496	522	302	3,229	6,001	5,906	95	101.6%
13	17	14	9	9	14	76	134	122	12	109.8%
14	22	38	8	10	20	112	182	165	17	110.3%
1,945	1,776	1,953	1,370	1,421	1,111	9,576	19,175	18,703	472	102.5%
216	610	776	424	69	31	2,126	4,002	4,915	△ 913	81.4%
2,161	2,386	2,729	1,794	1,490	1,142	11,702	23,177	23,618	△ 441	98.1%
205	272	0	0	0	0	477	730	801	△ 71	91.1%
169	121	90	107	190	235	912	1,421	1,548	△ 127	91.8%
0	0	0	0	0	0	0	29	22	7	131.8%
374	393	90	107	190	235	1,389	2,180	2,371	△ 191	91.9%
277	272	244	269	220	312	1,594	3,255	3,219	36	101.1%
263	274	213	208	183	251	1,392	2,794	2,778	16	100.6%
9	12	5	2	4	6	38	67	103	△ 36	65.0%
181	179	136	125	132	163	916	1,776	1,911	△ 135	92.9%
82	80	48	47	49	58	364	671	647	24	103.7%
88	105	23	6	2	1	225	450	505	△ 55	89.1%
3	1	0	2	1	3	10	30	106	△ 76	28.3%
3	2	1	2	0	1	9	15	6	9	250.0%
0	1	1	1	2	0	5	5	1	4	500.0%
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
54	34	50	37	56	48	279	550	627	△ 77	87.7%
57	37	52	40	58	49	293	570	634	△ 64	89.9%
960	960	721	699	649	843	4,832	9,613	9,903	△ 290	97.1%
3,495	3,739	3,540	2,600	2,329	2,220	17,923	34,970	35,892	△ 922	97.4%

別表（２）

2022年度（令和4年度）保健事業実績【公益目的事業1】

事業名	主な内容	4月～9月	10月～3月	2022年度	2021年度
		①	②	実績①+②	実績
(4) 保健事業					
①健康づくり個別支援事業					
健康支援プログラム事業	健康づくり目標達成に向けた、個別の支援プログラムの提供	75	68	143	147
生活習慣病予防等事業	健康寿命延伸のため健康増進計画(第2次)における7分野を基にした健康教育	68	368	436	412
健康度チェック	健診機会のない方や運動を開始する方のための健康診断	4	16	20	18
体力度チェック	体力測定を含むメディカルチェック	127	133	260	336
健康づくりトレーニング	健康づくりを目的とするマシントレーニング	9,325	8,652	17,977	17,203
各種健康保険組合被保険者への支援事業	社会保険被保険者・被扶養者対象の特定保健指導	1	3	4	4
②健康づくり地域普及事業					
地域支援事業	健康づくりサポーター養成や市民団体に対する運動定着支援、軽体操の普及啓発	871	2,088	2,959	1,397
健康寿命延伸支援事業	健康づくり運動開始のきっかけづくりと日常生活での実践方法の習得	84	642	726	602
③介護予防・障がい者の支援に関する事業					
コンディショニングトレーニング	マシンを使わない運動や道具による体操実践	2,551	2,548	5,099	5,258
介護予防事業	フレイル対策としての運動実践で、介護を必要としない生活を目指す(回数)	39	52	91	41
障がい者等生活改善相談	障害者・高齢者等の日常生活のQOL向上を図るための相談事業(回数)	47	51	98	86
藤沢市介護保険住宅改修等点検事業	介護保険サービスを利用した住宅改修点検及び福祉用具貸与についての実地調査(回数)	2	5	7	7
(5) 国保特定保健事業					
特定保健指導					
動機付け支援	メタボリックシンドローム予備群の人への健康支援	8	59	67	72
積極的支援	メタボリックシンドロームの人への健康支援	2	9	11	7
国保ヘルスチェック事業					
ヘルスチェック健康支援	ヘルスチェック結果の説明と質問票に基づいた健康支援	216	514	730	801
健診未受診者への受診勧奨業務	ヘルスチェック受診対象者への受診勧奨	4,798	0	4,798	4,557
保健指導業務	階層化により対象となった方への藤沢市特定保健指導に準じた保健指導	0	9	9	9
要保健指導もしくは要医療者への利用勧奨及び受診勧奨	ヘルスチェックの結果により要保健指導、要医療となった方への受診勧奨	32	182	214	244
特定保健指導利用勧奨事業					
特定保健指導利用勧奨	特定保健指導対象への電話による利用勧奨	79	1,487	1,566	1,834
特定保健指導実施機関研修会	特定保健指導の実施医療機関を対象にした保健指導の進め方等についての研修会	30	28	58	62
生活習慣病予防業務					
当該年度受診者に対する医療機関への受診勧奨	特定健診の結果、要治療のうち未治療者(低栄養者含む)へ受診勧奨等及び受診勧奨報告書を作成	0	0	0	243
前年度の医療機関受診勧奨対象者に対する医療及び健診受診勧奨	前年度の受診勧奨対象者で、勧奨後も未治療の者に電話による受診勧奨を行う	518	0	518	1,128
糖尿病性腎症等重症化予防プログラム支援					
糖尿病性腎症重症化予防プログラム支援	特定健診の結果、糖尿病性腎症が疑われる者や医療機関から紹介された糖尿病性腎症治療中の者を対象に行うプログラム	14	0	14	18

別表(3)

2022年度(令和4年度)介護保険事業実績(訪問看護)【公益目的事業2】

(4月～9月)

※件数：実人数 回数：延べ回数

区分		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
件数	看護	52	105	51	104	55	106	52	101	51	100	51	99
	リハビリ	4		3		4		3		4		1	
	看護+リハビリ	49		50		47		46		45		47	
看護回数	医療	191	431	216	438	212	447	198	407	202	424	197	423
	介護	240		222		235		209		222		226	
リハビリ回数	医療	47	184	50	184	61	211	45	178	50	186	45	173
	介護	137		134		150		133		136		128	
回数合計		615		622		658		585		610		596	
区分		小計(4～9)		合計①		月平均		(区分欄)					
件数	看護	312		615		102.5		※看護→看護のみ利用					
	リハビリ	19						※リハビリ→リハビリのみ利用					
	看護+リハビリ	284						※看護+リハビリ→両方利用					
看護回数	医療	1,216		2,570		428.3		※医療→医療保険					
	介護	1,354						※介護→介護保険					
リハビリ回数	医療	298		1,116		186.0							
	介護	818											
回数合計		3,686		3,686		614.3							

(10月～3月)

区分		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
件数	看護	53	105	51	100	52	100	44	90	42	93	43	97
	リハビリ	4		7		7		7		4		4	
	看護+リハビリ	48		42		41		39		47		50	
看護回数	医療	186	415	186	403	169	396	156	348	161	344	191	412
	介護	229		217		227		192		183		221	
リハビリ回数	医療	43	168	46	176	43	164	39	163	37	174	45	215
	介護	125		130		121		124		137		170	
回数合計		583		579		560		511		518		627	
区分		小計(10～3)		合計②		月平均							
件数	看護	285		585		97.5							
	リハビリ	33											
	看護+リハビリ	267											
看護回数	医療	1,049		2,318		386.3							
	介護	1,269											
リハビリ回数	医療	253		1,060		176.7							
	介護	807											
回数合計		3,378		3,378		563.0							

(総合計)

区分		2022年度			【参考】2021年度		
区分		合計(4～3)	総合計①+②	月平均	合計(4～3)	総合計	月平均
件数	看護	597	1,200	100.0	595	1,185	98.8
	リハビリ	52			49		
	看護+リハビリ	551			541		
看護回数	医療	2,265	4,888	407.3	2,304	4,776	398.0
	介護	2,623			2,472		
リハビリ回数	医療	551	2,176	181.3	536	1,938	161.5
	介護	1,625			1,402		
回数合計		7,064	7,064	588.7	6,714	6,714	559.5

別表（3）

2022年度（令和4年度）介護保険事業実績（居宅介護）【公益目的事業2】

【ケアプラン】

（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計①	月平均
介護保険	102	111	103	103	104	109	632	105.3
要支援者予防	22	22	22	24	22	21	133	22.2
計	124	133	125	127	126	130	765	127.5
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計②	月平均
介護保険	104	103	99	99	103	104	612	102.0
要支援者予防	21	21	22	20	20	20	124	20.7
計	125	124	121	119	123	124	736	122.7
区分	2022年度(令和4年度) ①+②		【参考】 2021年度					
	合計	月平均	合計	月平均				
介護保険	1,244	103.7	1,149	95.8				
要支援者予防	257	21.4	256	21.3				
計	1,501	125.1	1,405	117.1				

【認定調査】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計③	月平均
認定調査	16	11	14	11	11	10	73	12.2
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計④	月平均
認定調査	16	12	15	10	15	12	80	13.3
区分	2022年度(令和4年度) ③+④		【参考】2021年度					
	合計	月平均	合計	月平均				
認定調査	153	12.8	153	12.8				

2022年度（令和4年度）保険調剤薬局運営事業実績【公益目的事業3】

（受付処方せん枚数）

（単位：枚）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計①
2022年度	779	838	546	2,441	2,028	1,056	7,688
2021年度	453	731	398	904	877	506	3,869
前年度増減	326	107	148	1,537	1,151	550	3,819
前年比	172.0%	114.6%	137.2%	270.0%	231.2%	208.7%	198.7%

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計②	合計 ①+②	月平均
2022年度	725	1,072	1,934	2,184	1,373	782	8,070	15,758	1,313
2021年度	361	448	548	1,037	1,365	1,030	4,789	8,658	722
前年度増減	364	624	1,386	1,147	8	-248	3,281	7,100	592
前年比	200.8%	239.3%	352.9%	210.6%	100.6%	75.9%	168.5%	182.0%	182.0%

公益財団法人藤沢市保健医療財団 役員及び評議員

(ア) 役員(理事13人、監事2人)

職名	氏名	役員就任年月日	現職
理事長	鈴木 紳一郎	2021年6月10日	藤沢市医師会会長
副理事長	平岩 多恵子	2021年6月10日	藤沢市保健医療センター参与
副理事長	野村 勝俊	2021年8月3日	藤沢市医師会理事
専務理事	姫野 秀朗	2021年6月10日	藤沢市保健医療センター所長
常務理事	中島 徳幸	2021年6月10日	藤沢市保健医療センター管理部長
理事	石原 宏尚	2021年6月10日	藤沢市医師会副会長
理事	木原 明子	2021年8月3日	藤沢市医師会副会長
理事	片山 正昭	2021年6月10日	藤沢市歯科医師会会長
理事	平山 勝徳	2021年6月10日	藤沢市歯科医師会副会長
理事	齊藤 祐一	2021年6月10日	藤沢市薬剤師会会長
理事	後藤 君代	2021年6月10日	藤沢市薬剤師会副会長
理事	関根 達郎	2021年6月10日	藤沢市健康医療部参事 兼地域医療推進課長
理事	阿南 弥生子	2021年6月10日	藤沢市健康医療部保健所長
監事	福井 聡	2019年6月13日	公認会計士
監事	阿部 広治	2020年7月13日	藤沢市会計管理者

2023年(令和5年)3月31日現在

（イ）評議員（9人）

氏名	就任年月日	現職
捧 恵一	2019年6月13日	社会福祉法人竹生会（芭蕉苑施設長）
山内 慶太	2019年6月13日	慶應義塾大学看護医療学部教授 大学院健康マネジメント研究科
河野 智英子	2019年6月13日	藤沢市医師会代議員議長
和田 光利	2021年8月3日	藤沢市歯科医師会副会長
村上 和宣	2019年6月13日	藤沢市薬剤師会副会長
齋藤 直昭	2021年4月1日	藤沢市健康医療部長
村岡 哲也	2020年10月1日	藤沢商工会議所副会頭
川原田 武	2020年7月13日	藤沢市湘南大庭地区社会福祉協議会会長
大塚 真実	2020年7月13日	公益財団法人藤沢市みらい創造財団スポーツ・ 芸術文化事業部長

2023年(令和5年)3月31日現在

公益財団法人藤沢市保健医療財団 組織図

